



# 2017年3月期 第2四半期決算説明会

---

2016年11月9日

JASDAQ: 6467

**株式会社 ニチダイ**  
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

## ネットシェイプ事業

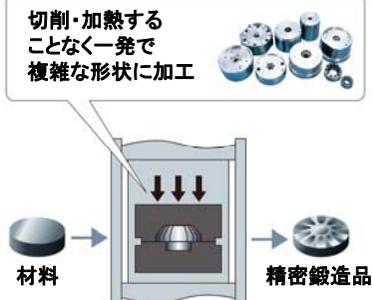
### ◆金型◆

・金型生産、開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供。

### ◆精密鍛造品◆

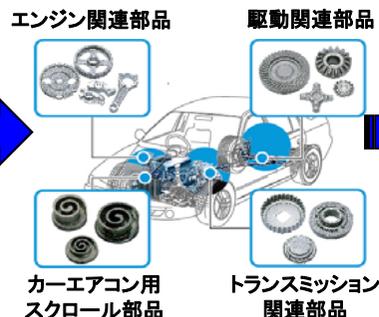
・金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供。

ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

### 【金型】

・国内の全自動車メーカー系列企業。  
・海外の自動車部品メーカーとの取引も増加。

### 【精密鍛造品】

・自動車部品メーカー  
(主製品はスクロール鍛造品)

## アッセンブリ事業

・ターボチャージャー部品の組立。  
主力はVGターボチャージャー部品。

・国内およびタイ工場で組立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応。



納入先メーカーでターボチャージャーの一部に組み込まれる



自動車産業

全世界の自動車メーカー

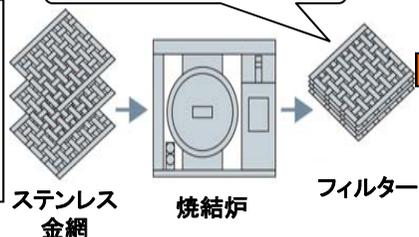
## フィルタ事業

・複数のステンレス金網を一体化した積層焼結フィルターの生産。

・フィルターの洗浄・再生サービス。

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造

微細で均一なる孔を実現



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



各種メーカー

石油、ガス、化学、繊維、食品、航空宇宙産業 など

## ネットシェイプ事業

単独

### ニチダイ (ND)

#### 宇治田原工場



スクロール鍛造品



精密鍛造金型

- 精密鍛造金型の生産拠点。
- 約30名の開発人員を持つ。
- 鍛造プレスを保有。鍛造品の生産も行う。

## アッセンブリ事業

#### 京田辺工場



VGターボ  
チャージャー部品



ガソリンエンジン車用  
ターボチャージャー部品

- 国内におけるターボチャージャー部品の生産拠点。
- 平成27年に宇治田原工場より京田辺工場に移転。

## フィルタ事業

### ニチダイフィルタ (NFC)

#### 宇治田原工場



積層焼結金網  
フィルター

- 国内の開発・生産拠点。
- 焼結炉を5基保有。

## 海外拠点

### ニチダイ アジア (NDA)

- ◆タイに立地する金型販売拠点。

### ニチダイ USA (NUC)

- ◆米国オハイオ州にある金型販売拠点。

## ニチダイタイランド (NDT)

- ◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方におけるアジアの戦略拠点。

### ネットシェイプ事業

- ・エアコン用スクロールコンプレッサー部品の生産。
- ・精密鍛造金型の生産

### アッセンブリ事業

- ・ターボチャージャー部品の製造販売 (海外ユーザー向け)

### タイ・シタート・メッシュ (TSM)



- ◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルターの生産拠点。石油掘削用フィルターが主製品。焼結炉を5基保有。

# I .17/3期上半期実績

---

単位:百万円

	16/3 上半期実績 15/4-15/9	17/3 上半期計画 16/4-16/9	17/3 上半期実績 16/4-16/9	伸び率
売上高	7,166	6,760	6,790	△ 5.3%
売上総利益	1,473	1,340	1,194	△ 18.9%
販売管理費	1,031	1,030	1,019	△ 1.2%
営業利益	441	310	175	△ 60.2%
営業外損益	15	5	50	—
経常利益	426	305	124	△ 70.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	285	195	64	△ 77.3%

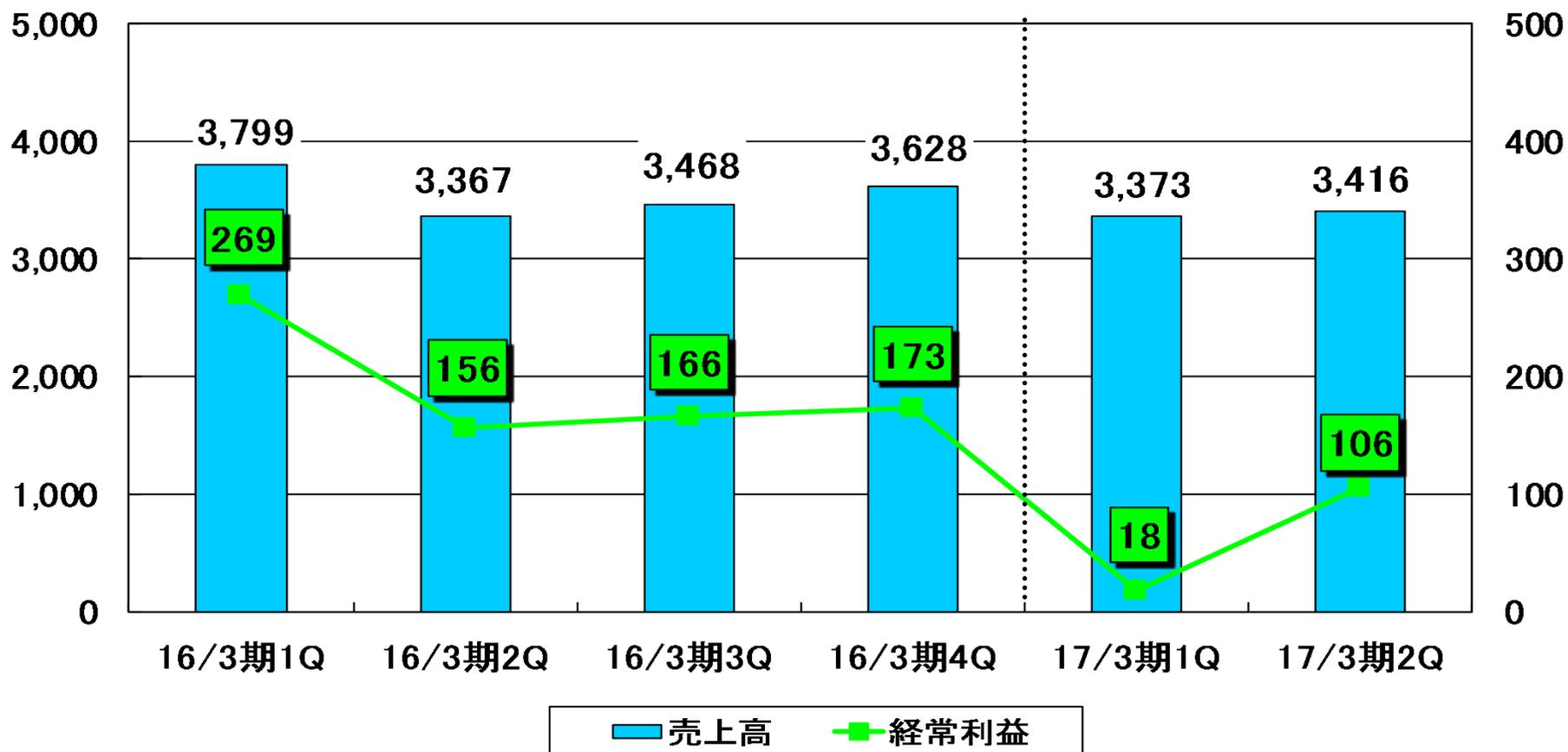
\* 百万円未満切り捨て。

# I .17/3期上半期実績 — 四半期別業績推移 —

- ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上高が低迷し、収益に影響。
- 為替差損の影響もあり、経常利益も低水準で推移。

売上高(左軸)  
単位:百万円

経常利益(右軸)  
単位:百万円



# I .17/3期上半期実績 — 事業別売上高の状況 —

単位:百万円

事業	16/3 上半期実績 15/4-15/9	17/3 上半期実績 16/4-16/9	伸び率
ネットシェイプ	3,649	3,332	△ 8.7%
アッセンブリ	2,601	2,503	△ 3.8%
フィルタ	916	953	4.1%
連結計	7,166	6,790	△ 5.3%

- ▶ 金型部門:国内は前年と同水準で推移したが、海外が不振となる。
- ▶ 精密鍛造品部門:国内のスクロール鍛造品が減少。

- ▶ 国内外でVGターボチャージャー部品の売上高が減少。
- ▶ ガソリンエンジン車向けターボチャージャー部品の売上高が増加。

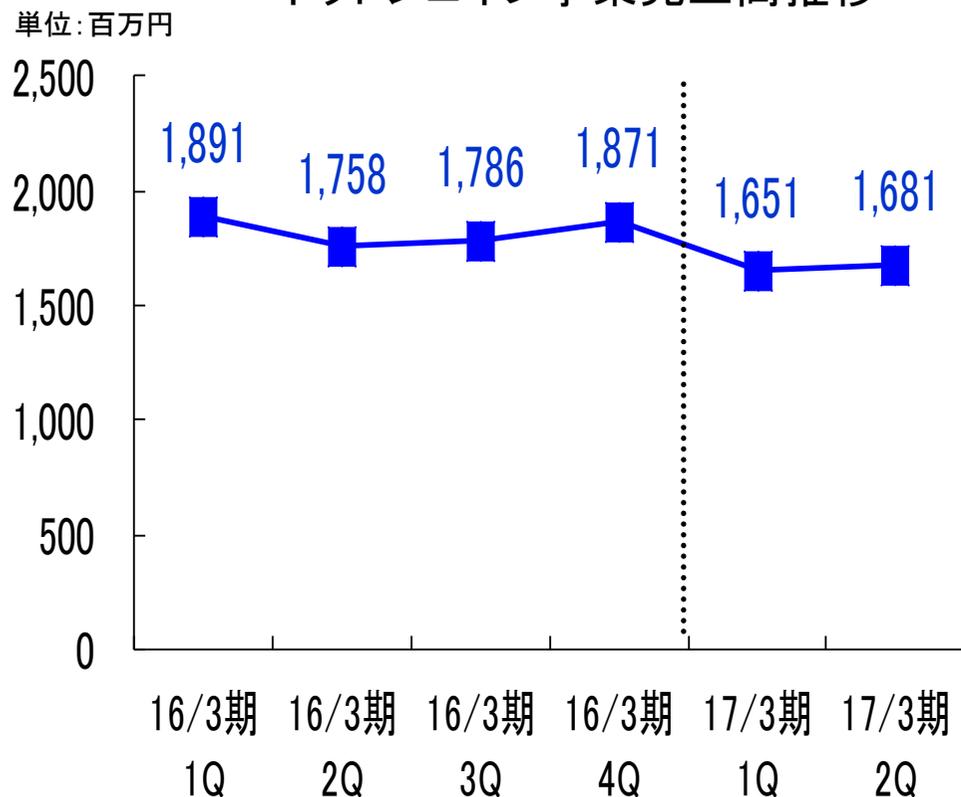
- ▶ 大型海水ストレーナーなどが増加。
- ▶ 石油掘削用フィルターが大幅に減少。

\* 百万円未満切り捨て。

# I .17/3期上半期実績 — ネットシェイプ事業概況 —

- **金型部門**: (国内) 2Qから回復しているもののユーザー間にばらつきは見られる状況。  
(海外) 東南アジア地域向けが不振となり、海外向けが減少。
- **精密鍛造品部門**: (国内生産) スクロール鍛造品が減少。  
アッセンブリ事業向けの部品内製が増加。  
(海外生産) 海外生産はほぼ前年並みで推移。

ネットシェイプ事業売上高推移



国内外別売上高推移

単位: 百万円

	15/9 実績	16/9 実績	伸び率
金型(国内)	2,011	2,037	1.3%
金型(海外)	738	660	△ 10.6%
金型計	2,750	2,697	△ 1.9%
精鍛(国内)	458	299	△ 34.8%
精鍛(海外)	439	487	10.8%
精鍛計*	898	786	△ 12.5%
ネットシェイプ計	3,649	3,332	△ 8.7%

\* 精鍛計は、国内外の単純合算の数値。

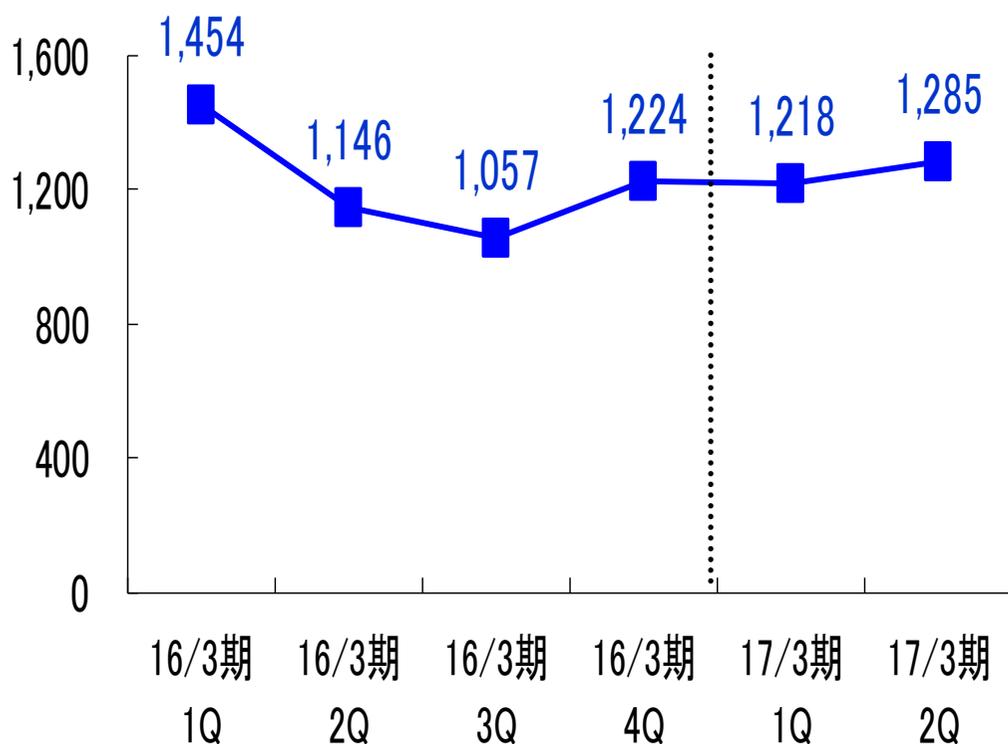
\* 百万円未満切り捨て。

# I .17/3期上半期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- ▶ 国内外ともVGターボチャージャー部品の売上高が減少。  
ガソリンエンジン車向けターボチャージャー部品の売上高が増加。
- ▶ 海外は為替換算の影響あり。

### アッセンブリ事業売上高推移

単位:百万円



### 国内外別売上高推移

単位:百万円

	15/9 実績	16/9 実績	伸び率
国内	1,119	1,076	△ 3.9%
海外	1,481	1,427	△ 3.7%
総合計	2,601	2,503	△ 3.8%

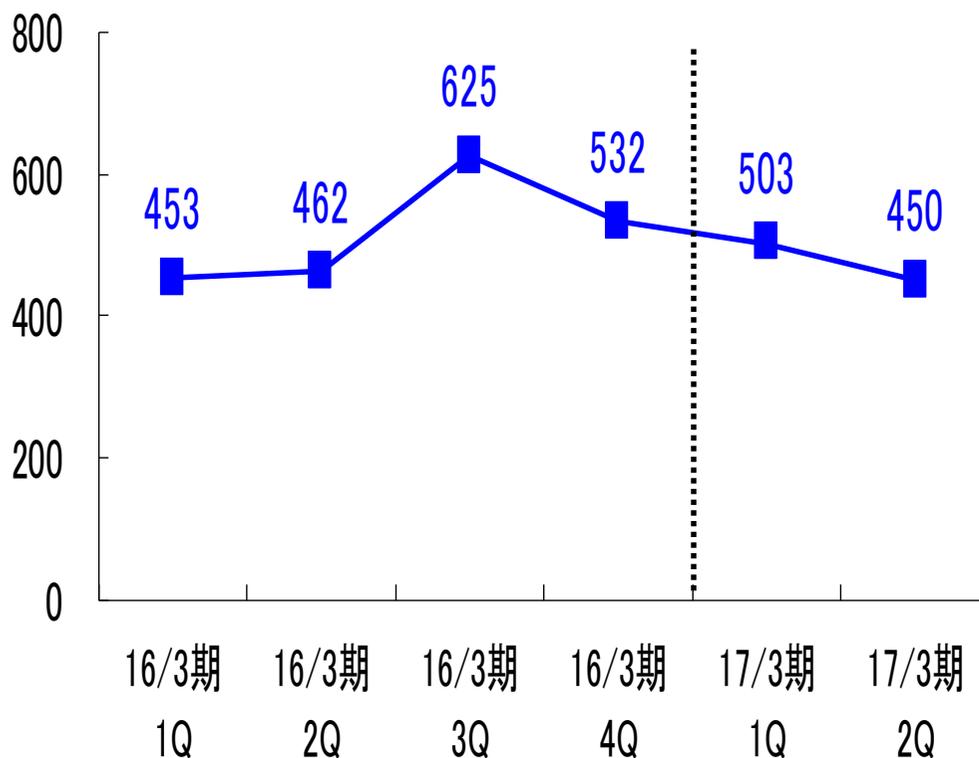
\* 百万円未満切り捨て。

# I .17/3期上半期実績 — フィルタ事業概況 —

- (国内) 大型海水ストレーナーなどが増加し国内売上高が増加。
- (海外) 石油掘削用フィルターが低調に推移。  
アジア向けのスポット品があり、海外売上高は増加。

フィルタ事業売上高推移

単位: 百万円



国内外別売上高推移

単位: 百万円

	15/9 実績	16/9 実績	伸び率
国内	658	688	4.5%
海外	257	265	3.0%
総合計	916	953	4.1%

単位：百万円

	15/9			16/9		
	売上高	経常利益	利益率	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイブ	3,649	150	4.1%	3,332	53	1.6%
アッセンブリ	2,601	140	5.4%	2,503	△ 17	△ 0.7%
フィルタ	916	135	14.7%	953	88	9.2%
連結計	7,166	426	5.9%	6,790	124	1.8%

▶ 金型部門の売上高減少による。  
 ▶ 為替差損の影響あり。

▶ VGターボチャージャー  
 部品の売上高減少の影響。

▶ TSMにおける石油掘削用  
 フィルターの減少。  
 ▶ 製品ミックスの影響あり。

\* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	15/9 実績	比率	16/9 実績	比率
売上高	7,166	100.0%	6,790	100.0%
材料費	2,563	35.8%	2,240	33.0%
製品仕入	344	4.8%	402	5.9%
外注加工費	680	9.5%	560	8.2%
補助材料費	239	3.3%	221	3.3%
人件費	1,254	17.5%	1,267	18.7%
減価償却費 <sup>*1</sup>	401	5.6%	331	4.9%
在庫増減	202	2.8%	△ 197	△ 2.9%
その他	411	5.7%	373	5.5%
売上原価	5,693	79.4%	5,595	82.4%
売上総利益	1,473	20.6%	1,194	17.6%

▶ アッセンブリ事業の在庫減少による。

\* 百万円未満切り捨て。

\* 1. 2017年3月期より、減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

単位:百万円

	15/9 実績	比率	16/9 実績	比率
売上高	7,166	100.0%	6,790	100.0%
荷造・運賃	77	1.1%	74	1.1%
旅費交通費	61	0.9%	56	0.8%
人件費	509	7.1%	528	7.8%
減価償却費 <sup>*1</sup>	73	1.0%	59	0.9%
賃借料	31	0.4%	31	0.5%
その他	278	3.9%	269	4.0%
<b>販売・管理費</b>	<b>1,031</b>	<b>14.4%</b>	<b>1,019</b>	<b>15.0%</b>

\* 百万円未満切り捨て。

\* 1. 2017年3月期より、減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

単位:百万円

	15/9 実績	16/3 実績	16/9 実績	増減
現金預金	2,023	2,073	2,487	414
受取手形	637	744	622	△ 121
売掛金	2,873	3,054	2,854	△ 200
たな卸資産	2,649	2,523	2,204	△ 319
その他	197	138	134	△ 3
貸倒引当金	△ 1	△ 1	△ 1	0
<b>流動資産計</b>	<b>8,380</b>	<b>8,532</b>	<b>8,302</b>	<b>△ 230</b>
有形固定資産	7,202	6,844	6,475	△ 369
無形固定資産	103	95	127	31
投資その他の資産	222	252	208	△ 43
<b>固定資産計</b>	<b>7,528</b>	<b>7,192</b>	<b>6,811</b>	<b>△ 381</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,908</b>	<b>15,725</b>	<b>15,113</b>	<b>△ 611</b>

▶アッセンブリ事業の在庫減少による。

\* 百万円未満切り捨て。

\* 増減は、16/3実績と16/9実績との差

# I .17/3期上半期実績 — B/S:負債・純資産の状況 —

単位:百万円

	15/9 実績	16/3 実績	16/9 実績	増減
買掛金	1,344	1,318	1,290	△ 28
短期借入金	1,655	1,575	1,503	△ 72
未払法人税等	106	71	62	△ 8
賞与引当金	275	147	277	130
その他	649	876	679	△ 196
流動負債計	4,029	3,988	3,813	△ 175
長期借入金	857	935	1,007	71
その他	455	475	387	△ 87
固定負債計	1,313	1,410	1,395	△ 15
負債計	5,343	5,399	5,208	△ 190
資本金	1,429	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	1,192	0
利益剰余金	6,572	6,681	6,656	△ 25
非支配株主持分	961	927	825	△ 101
その他	408	93	△ 199	△ 293
純資産計	10,565	10,326	9,904	△ 421
負債・純資産合計	15,908	15,725	15,113	△ 611

▶ 為替換算調整勘定  
 15/9 421百万円  
 16/3 227百万円  
 16/9 △80百万円

\* 百万円未満切り捨て。

\* 増減は、16/3実績と16/9実績との差

単位:百万円

	15/9	16/9	増減
営業活動によるCF	585	1,015	429
投資活動によるCF	△ 479	△ 325	153
財務活動によるCF	△ 506	△ 157	348
現金及び現金同等物の増減額	△ 400	415	815
現金及び現金同等物の期首残高	2,316	1,964	△ 351
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,915	2,379	463
<b>FCF</b>	<b>106</b>	<b>689</b>	<b>583</b>

- ▶ たな卸資産の増減額  
15/9 △94百万円  
16/9 253百万円
- ▶ 仕入債務の増減額  
15/9 △277百万円  
16/9 37百万円

\* 百万円未満切り捨て。

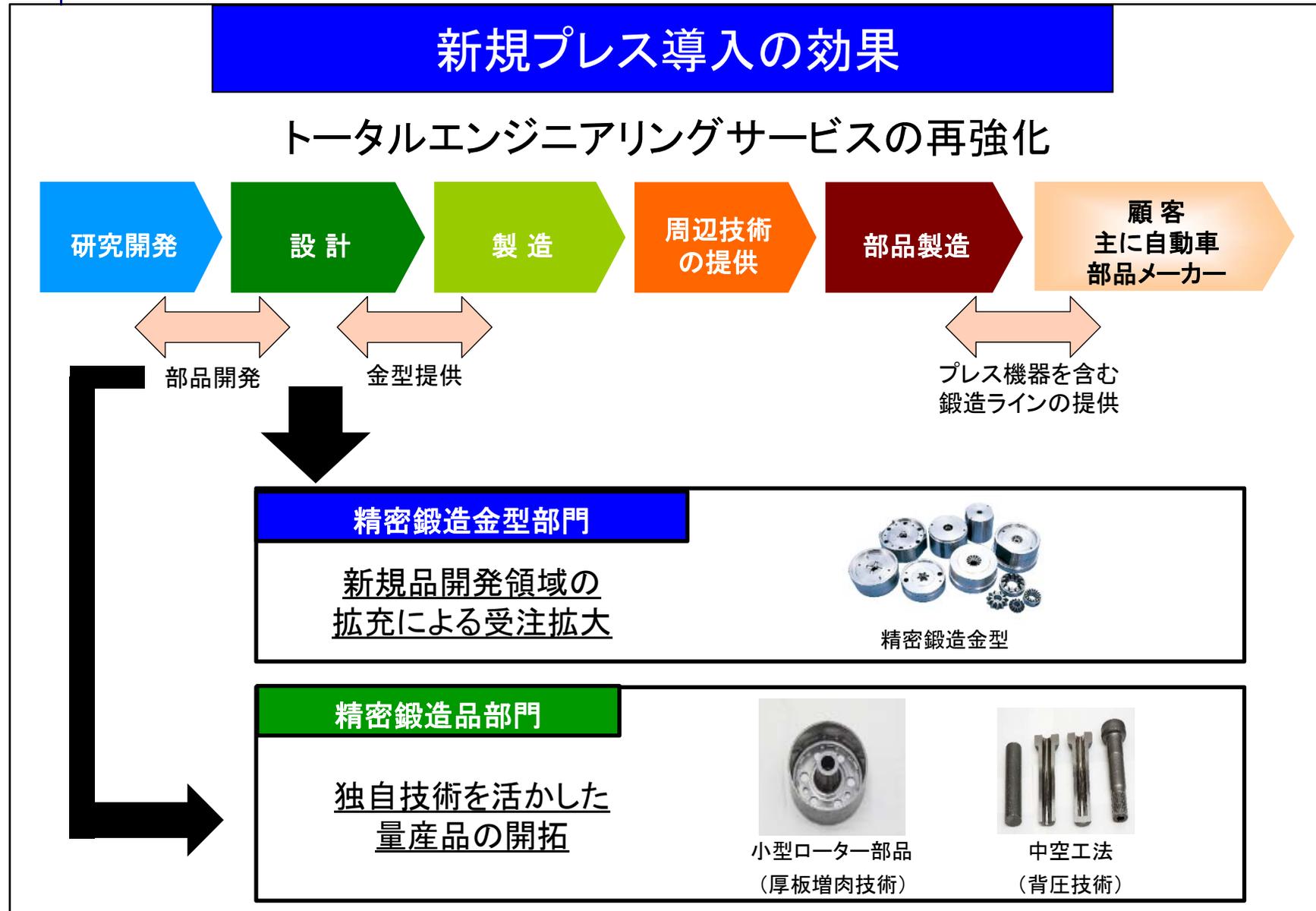
## Ⅱ. 中期経営戦略の進捗状況

---

新規研究開発用プレス～2016年12月より稼動予定



NFD1000



## Ⅲ. 17/3期通期見込

---

➤10月25日に通期の業績予想を修正。

単位: 百万円

	16/3 実績 15/4-16/3	17/3 当初計画 16/4-17/3 (16年5月発表)	17/3 通期予想 16/4-17/3 (16年10月発表)	伸び率
売上高	14,264	14,000	14,000	△ 1.9%
売上総利益	2,923	2,975	2,630	△ 10.0%
販売管理費	2,094	2,090	2,060	△ 1.6%
営業利益	828	885	570	△ 31.2%
営業外損益	62	15	70	12.9%
経常利益	766	870	500	△ 34.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	485	575	325	△ 33.1%

\* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

事業	16/3 通期実績 15/4-16/3	17/3 当初計画 16/4-17/3 (16年5月発表)	17/3 通期計画 16/4-17/3 (16年10月発表)	伸び率
ネットシェイプ	7,307	7,100	6,800	△ 6.9%
アッセンブリ	4,882	4,900	5,300	8.5%
フィルタ	2,074	2,000	1,900	△ 8.4%
連結計	14,264	14,000	14,000	△ 1.9%

下半期の見込  
 ▶ 金型部門:国内外の回復を見込むも当初計画は下回る水準となる。  
 ▶ 精密鍛造品部門:ほぼ計画どおりで推移する見込み。

下半期の見込  
 ▶ 主に海外生産の回復を見込む。

下半期の見込  
 ▶ 石油掘削用フィルターが低迷し、期初計画を下回る見込み。

\* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	11/3 実績	12/3 実績	13/3 実績	14/3 実績	15/3 実績	16/3 実績	17/3 計画
設備投資額	372	627	1,605	1,290	1,313	774	1,580
減価償却費	532	539	602	764	879	970	836

\* 百万円未満切り捨て。

\* 2017年3月期より、減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

## Ⅲ.17/3期通期見込 — 配当について —

	第2四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
13年3月期	8.00	8.00	16.00
14年3月期	8.00	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
15年3月期	8.00	12.00	20.00
16年3月期	10.00	10.00	20.00
17年3月期(予想)	10.00	10.00(予想)	20.00(予想)

\* 当期は、当社創立50周年を迎える年でもあり、当初予想どおり、中間配当を10円とし、  
 期末配当につきましても10円を予定しております。これにより、年間配当は、前期と同額の合計20円となる予定です。

本日は、ありがとうございました。

# 株式会社 ニチダイ

## NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : [konno@nichidai.co.jp](mailto:konno@nichidai.co.jp)

テーマ	2017年3月期の当初見通し	上半期の状況	下半期の見通し
海外展開の強化	<p><b>金型部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア地域における売上高が増加する見込み。</li> <li>・NDT: 生産品種を拡大し、タイにおける拡販につなげる。</li> </ul> <p><b>精密鍛造品部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NDTにおけるスクロール鍛造品の生産が増加する見込み。</li> </ul>	<p><b>金型部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア地域における売上高は計画未達になっている状況。</li> <li>・タイ NDTにおける金型部門の売上高も当初計画を下回る状況。</li> </ul> <p><b>精密鍛造品部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクロール鍛造品の海外生産は、前年と同水準で推移。</li> </ul>	<p><b>金型部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国、韓国向けの拡販を強化。</li> <li>・NDTにおける生産品種拡大は、継続的に対応。</li> </ul> <p><b>精密鍛造品部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NDTにおけるスクロールの生産が増加。前年対比で売上高が増加する見込み。</li> </ul>
新規事業技術開発	<p><b>金型部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄積した技術を活用した新規需要開拓を継続。引き続き、中空工法、小型ロータ一部分の技術開発を推進。</li> </ul> <p><b>精密鍛造品部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規量産事業の立ち上げを模索。</li> </ul>	<p><b>金型部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発活動は継続。</li> <li>・研究開発用新規プレスの導入を進める。</li> </ul> <p><b>精密鍛造品部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発活動を継続。</li> </ul>	<p><b>金型部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発用新規プレスが稼働予定。</li> <li>・開発活動を進めるとともに、金型の拡販を強化する。</li> </ul> <p><b>精密鍛造品部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発活動を継続。</li> </ul>

テーマ	2017年3月期の 当初見通し	上半期の状況	下半期の見通し
QDCの さらなる改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き国内売上高が低迷する見込み</li> <li>構成部品の内製生産の効率化を進める施策を推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内：期初計画どおりの売上高で推移。ガソリンエンジン 車用のターボチャージャー部品の売上高が増加。生産効率化を進める。</li> <li>構成部品の内製生産が増加。効率化の推進を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内：下半期はほぼ期初計画と同様の売上高になる予定。</li> </ul>
海外展開の 強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディーゼルエンジン車用ターボチャージャー部品の減少をガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品でカバーしていく見込み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外：前年とほぼ同水準の売上高で推移。為替換算の影響などにより円ベースで減少となる。</li> <li>予想どおり、ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品の売上高が増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外：下半期は期初計画を超える売上高になる見込み。上半期と比較し収益性が向上する見込み。</li> </ul>
新規事業 技術開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品の構成部品内製の効率化を推進。</li> <li>アッセンブリ事業の国内開発部門は、新規品獲得のためバックアップを継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産量が増大した構成部品内製の効率化は継続</li> <li>2018年3月期以降の新規品獲得に向けた活動を継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内製化策、新規品獲得のための開発を継続。</li> </ul>

テーマ	2017年3月期の当初見通し	上半期の状況	下半期の見通し
<b>海外展開の強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TSMの石油掘削用フィルターに関しては、引き続き低水準で推移する見込み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TSMの石油掘削用フィルターは、見込みどおり低水準で推移。</li> <li>・アジア地域へのスポット品があり、海外売上高は増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、TSMの石油掘削用フィルターが低迷し、収益に影響が生じる見込み。</li> </ul>
<b>新規事業技術開発</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型海水ストレーナーの売上高が増加。</li> <li>・MM(メタルメッシュ)触媒フィルター：二輪車向け排ガス浄化装置への搭載を念頭に開発を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MM(メタルメッシュ)触媒フィルター実用化に向けて、各メーカーへの営業活動を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型海水ストレーナーは計画通りで推移する見込み。</li> <li>・排ガスフィルターの販売活動を継続。</li> </ul>
<b>QDCのさらなる改善</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型海水ストレーナーの生産が2016年3月期と同水準で推移する見込み。生産向上策を推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産向上のための活動を開始。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を継続。</li> </ul>